

## 「楽しく作る益子焼」



主催事業「楽しく作る益子焼」を開催しました。伝統工芸士 床井崇一氏、陶芸家 塩幡桃子氏を講師に迎え、11月20日(土曜日)から12月11日(土曜日)まで、全3回の日程で行いました。



第1回(11月20日)  
今回のテーマ成形は、石膏型を用いた作品作りです。石膏型から皿や器を作り出したり、参加者自身が石膏型を作成したりしました。



テーマ成形終了後は、自由成形に取り組みました。一人ひとり自分の思いや考えを生かしながら、熱心に制作活動を行っていました。



第2回(12月4日)  
作業2日目は、釉薬がけや絵付けを行いました。芳賀青年の家では、9種類の釉薬を準備しています。また、陶芸絵の具なども使いながら、焼き上がりをイメージし、慎重かつ大胆に作業されている姿が印象的でした。



釉薬がけ終了後には、窯詰めの作業を行いました。講師のサポートを受けながら、参加者の皆さんにも作業に参加してもらいました。  
焼き上がりが楽しみです。



第3回(12月11日)

いよいよ焼き上がった作品の鑑賞会です。講師と参加者、参加者同士が作品のできばえについて意見交換を行いました。

参加者アンケートには、「思うようにいかないところが次回の楽しみにつながっています。」といった意見もいただきました。



鑑賞会終了後は、講師である床井先生から、陶芸に関する話をいただきました。「釉薬」や「粘土」に関する内容を中心に、わかりやすく丁寧にお話しいただきました。

参加者の皆さん、3日間お疲れ様でした。